

法定添付書類（省令第4条）に関する事項

（1）法人にあってはその登記事項証明書

登記事項証明書（別添資料1のとおり）

（2）主として販売する物品の種類

別記1のとおり

（3）建物の位置及びその建物内の小売業を行うための店舗の用に供される部分の配置を示す図面

建物配置図 別添「資料－3 平面図兼配置図」のとおり

各階平面図 別添「資料－3 平面図兼配置図」のとおり

（4）必要な駐車場の収容台数を算出するための来客自動車の台数等の予測の結果及び算出根拠

① 小売店舗に係る必要駐車台数の算出根拠

原単位区分	係 数 等	算 出 根 拠
日来店客数（人） $A(a \times b)$	1,197.47	・ 指針による必要駐車台数計算式
店舗面積当たり日来店客数原単位（人／千 m^2 ） a	1,066.31	
店舗面積（千 m^2 ） b	1.123	
ピーク率（％） B	14.4	
自動車分担率（％） C	80	
平均乗車人員（人／台） D	2.0	
平均駐車時間係数 E	0.6029	
必要駐車台数 $A \times B \times C \div D \times E$	42台	

※端数処理については、計算結果を四捨五入

② 小売店舗以外の施設に係る駐車台数

該当なし

(5) 駐車場の自動車の出入口の形式又は来客の自動車の方向別台数の予測の結果等駐車場の自動車の出入口の数及び位置を設定するために必要な事項

①方面別自動車台数予測値等

来客方面	日來台数予測値	ピーク1時間 來台数予測値	入庫入口	摘 要
エリア1	74台/日	11台/時	出入口No.1	※予測値の算出根拠 別添資料2 「交通処理計画報告書」のとおり
エリア2	128台/日	18台/時	出入口No.1	
エリア3	85台/日	12台/時	出入口No.2	
エリア4	192台/日	28台/時	出入口No.2	
合 計	479台/日	69台/時		

・別添「資料－4 案内経路図」のとおり

②出入口別入庫処理能力

出入口箇所		入庫処理能力※	ピーク1時間 來台数予測値	左折入庫の 有 無	右折入庫の 有 無	出庫車等との動線分離の有無		
						出庫車	自転車	歩行者
a	出入口No.1	450台/時	0台/時	有	無	有	無	無
b	出入口No.2	450台/時	69台/時	有	有	有	無	無
c	出入口No.3	450台/時	0台/時	有	有	有	無	無

※3,600秒/8秒(1台)＝450台/時

・別添「資料－5 動線計画図」のとおり

③交通量調査及び立地後の予測結果

調査地点	調査日時(時間帯)	調査結果		予測結果	
交差点No.1	2026年5月17日(日) 午前9時から午後9時	平日	1,163台/時	平日	1,243台/時
		休日	1,112台/時	休日	1,192台/時
交差点No.2	2026年5月18日(月) 午前9時から午後9時	平日	1,977台/時	平日	2,035台/時
		休日	1,817台/時	休日	1,875台/時

・別添「資料－4 案内経路図」のとおり

・別添資料2「交通処理計画報告書」のとおり

④その他必要な事項(①～③以外に必要と判断される事項を適宜記入して下さい。)

出入口箇所	駐車場形式		発券ブースまでの 距離(機械式)	駐車場内の車路等 (自走式)	入庫待ち車両による 渋滞発生見込の有無
	機械式	自走式			
出入口No.1	—	○	—	0m	無
出入口No.2	—	○	—	0m	無
出入口No.3	—	○	—	0m	無

・別添「資料－5 動線計画図」のとおり

(6) 来客の自動車を駐車場に案内する経路及び方法

①自動車の案内経路・案内表示

別添「資料－4 案内経路図／資料－5 動線計画図」のとおり

②交通整理員の配置状況

配 置 位 置	配置人員	配置曜日	配 置 時 間 帯
別添「資料－5 動線計画図」のとおり	未 定	未 定	未 定
・オープンセール期間は、出入口付近に交通整理員を適宜配置して周辺地域に混雑が生じないよう誘導を行う。 ・オープンに伴って来店車両により周辺道路の交通流に変化が生じ、周辺地域の生活道路に渋滞等の影響が生じた場合には、関係機関と協議を行い、適切な対応を検討する。			

(7) 荷さばき施設において商品の搬出入を行うための自動車の台数及び荷さばきを行う時間帯

荷さばき時間帯	搬出入車両台数	積載重量
午前 6 時～午前 7 時	1 台	4 t
午前 7 時～午前 8 時		
午前 8 時～午前 9 時		
午前 9 時～午前 10 時		
午前 10 時～午前 11 時		
午前 11 時～午後 0 時		
午後 0 時～午後 1 時		
午後 1 時～午後 2 時		
午後 2 時～午後 3 時		
午後 3 時～午後 4 時		
午後 4 時～午後 5 時		
午後 5 時～午後 6 時		
午後 6 時～午後 7 時		
午後 7 時～午後 8 時		
午後 8 時～午後 9 時		
午後 9 時～午後 10 時		
午後 10 時～午後 11 時		
午後 11 時～午前 0 時		
午前 0 時～午前 1 時		
午前 1 時～午前 2 時		
午前 2 時～午前 3 時		
午前 3 時～午前 4 時		
午前 4 時～午前 5 時		
午前 5 時～午前 6 時		
合 計	1 台	

(8) 遮音壁を設置する場合にあっては、その位置及び高さを示す図面

遮音壁の設置なし

(9) 冷却塔、冷暖房設備の室外機又は送風機を設置する場合にあっては、それらの稼働時間帯及び位置を示す図面

No.	設 備 名		設 置 位 置		稼働予定時間帯
1	室外機 1	ROA-RP1403HS	R 階部 (6. 5m)	資料－ 6	午前 9 時 30 分～午後 8 時 00 分
2	室外機 2	ROA-RP1403HS	R 階部 (6. 3m)	資料－ 6	午前 9 時 30 分～午後 8 時 00 分
3	室外機 3	ROA-RP1403HS	R 階部 (6. 7m)	資料－ 6	午前 9 時 30 分～午後 8 時 00 分
4	室外機 4	ROA-RP1403HS	R 階部 (7. 1m)	資料－ 6	午前 9 時 30 分～午後 8 時 00 分
5	室外機 5	ROA-RP1403HS	R 階部 (7. 1m)	資料－ 6	午前 9 時 30 分～午後 8 時 00 分
6	室外機 6	ROA-RP1403HS	R 階部 (7. 1m)	資料－ 6	午前 9 時 30 分～午後 8 時 00 分
7	室外機 7	ROA-RP1403HS	R 階部 (7. 1m)	資料－ 6	午前 9 時 30 分～午後 8 時 00 分
8	室外機 8	ROA-RP503HS	R 階部 (6. 6m)	資料－ 6	午前 9 時 30 分～午後 8 時 00 分
9	室外機 9	RAS-2211AT	R 階部 (6. 4m)	資料－ 6	午前 9 時 30 分～午後 8 時 00 分
10	排気口	EFG-40SB	1 階部 (4. 5m)	資料－ 6	午前 0 時 00 分～午後 12 時 00 分
11	キュービクル	キュービクル a	1 階部 (0. 9m)	資料－ 6	午前 0 時 00 分～午後 12 時 00 分

※騒音発生源の位置は別添「資料－ 6 騒音発生源位置図」のとおり

(10) 平均的な状況を呈する日における等価騒音レベルの予測の結果及びその算出根拠

①個別騒音予測
(昼間)

騒音発生源			基準距離における騒音レベル等		騒音継続時間 又は 騒音発生回数	予測地点までの距離(m)			各予測地点における等価騒音レベル(dB)		
			騒音レベル (dB)	※根拠		A地点	B地点	C地点	A地点	B地点	C地点
定 常 騒 音	1	室外機1	58.0	*1	午前9時30分～午後8時00分	20.3	87.5	104.4	30.1	17.4	15.8
	2	室外機2	58.0	*1	午前9時30分～午後8時00分	27.6	73.2	93.9	27.4	18.9	16.7
	3	室外機3	58.0	*1	午前9時30分～午後8時00分	48.8	51.8	74.2	22.4	21.9	18.8
	4	室外機4	58.0	*1	午前9時30分～午後8時00分	55.3	50.9	66.0	21.3	22.1	19.8
	5	室外機5	58.0	*1	午前9時30分～午後8時00分	47.7	61.9	75.3	22.6	20.4	18.7
	6	室外機6	58.0	*1	午前9時30分～午後8時00分	42.1	72.2	84.3	23.7	19.0	17.7
	7	室外機7	58.0	*1	午前9時30分～午後8時00分	39.1	79.8	91.2	24.4	18.2	17.0
	8	室外機8	47.0	*1	午前9時30分～午後8時00分	25.8	88.8	103.4	17.0	6.2	4.9
	9	室外機9	46.0	*1	午前9時30分～午後8時00分	20.6	89.9	106.2	17.9	5.1	3.7
	10	排気口	53.5	*1	午前0時00分～午後12時00分	12.0	92.5	111.1	31.9	14.2	12.6
	11	キュービクル	52.6	*2	午前0時00分～午後12時00分	31.3	69.3	93.0	22.7	15.8	13.2
変 動 騒 音	12	搬出入車両後進警報ブザー音	90.0	*3	1台×14秒	43.3	101.0	109.1	21.2	13.8	13.1
	13	廃棄物収集車両後進警報ブザー音	90.0	*3	3台×14秒	43.3	101.0	109.1	25.9	18.5	17.8
	14	廃棄物収集作業音(圧縮)	90.0	*3	3台×180秒	38.4	92.1	101.9	38.0	30.4	29.5
	15	廃棄物収集作業音(非圧縮)	85.0	*3	3台×60秒	38.4	92.1	101.9	28.2	20.6	19.7
	※	来客車両走行音	74.0	*3	479台×2回	-	-	-	35.3	38.8	34.6
	※	搬出入車両走行音	73.4	*4	1台×1～2回	-	-	-	7.1	0.2	-0.6
	※	廃棄物収集車両走行音	82.4	*4	3台×1～2回	-	-	-	17.9	11.0	10.2

※荷さばき作業音は軽量の荷物を手作業にて行うため、作業音(台車走行音、荷下ろし音等)は発生しない。

*1 メーカー提供データより

*2 別添資料-3「騒音予測評価報告書(p.2)」より

*3「大規模小売店舗から発生する騒音予測の手引き(平成12年経済産業省)」より

*4「ASJ RTN-Model 2013」より

*5 騒音予測地点A～Cは、資料-7に示す。

A地点:建物敷地北東側住居敷地内(高さ 1.5m)

B地点:建物敷地北西側住居敷地内(高さ 1.0m)

C地点:建物敷地南側集合住宅敷地内(高さ 1.0m)

*6 騒音発生源の位置は別添「資料-6 騒音発生源位置図」に示す。

(夜間)

騒音発生源			基準距離における騒音レベル等		騒音継続時間 又は 騒音発生回数	予測地点までの距離(m)			各予測地点における等価騒音レベル(dB)		
			騒音レベル (dB)	※根拠		A地点	B地点	C地点	A地点	B地点	C地点
定 常	10	排気口	53.5	*1	午前0時00分～午後12時00分	12.0	92.5	111.1	31.9	14.2	12.6
	11	キュービクル	52.6	*1	午前0時00分～午後12時00分	31.3	69.3	93.0	22.7	15.8	13.2
	※	搬出入車両走行音	73.4	*2	1台×1～2回	-	-	-	10.1	3.2	2.4

※夜間の搬出入車両は後進警報ブザー音を切るとともに、荷さばき作業音は軽量の荷物を手作業にて行うため、作業音(台車走行音、荷下ろし音等)は発生しない。

定常:定常騒音を示す。

*1 別添資料-3「騒音予測評価報告書(p.2)」より

*2「ASJ RTN-Model 2013」より

*3 騒音予測地点A～Cは、資料-7に示す。

A地点:建物敷地北東側住居敷地内(高さ 1.5m)

B地点:建物敷地北西側住居敷地内(高さ 1.0m)

C地点:建物敷地南側集合住宅敷地内(高さ 1.0m)

*4 騒音発生源の位置は別添「資料-6 騒音発生源位置図」に示す。

②予測地点別合算結果

予測地点	位 置	昼間・等価騒音レベル	夜間・等価騒音レベル
A地点	別添「資料－7 騒音予測地点位置図」(A地点 1.5m)	41.9 dB	32.4 dB
B地点	別添「資料－7 騒音予測地点位置図」(B地点 1.0m)	39.9 dB	18.2 dB
C地点	別添「資料－7 騒音予測地点位置図」(C地点 1.0m)	36.5 dB	16.1 dB

※1 騒音発生源の位置は別添「資料－6 騒音発生源位置図」に示す。

※2 予測計算方法は別添資料3「騒音予測評価報告書」に示す。

(11) 夜間において、大規模小売店舗の施設の運営に伴い騒音が発生することが見込まれる場合にあっては、その騒音の発生源ごとの騒音レベルの最大値の予測の結果及びその算出根拠

騒音発生源			基準距離における騒音レベル等		騒音継続時間又は騒音発生回数	予測地点までの距離(m)	騒音レベルの最大値(dB)	予測場所の区域指定
			騒音レベル(dB)	※根拠				
定常	10	排気口	53.5	*1	午前0時00分～午後12時00分	1.5	50.0	第2種区域
	11	キュービクル	52.6	*1	午前0時00分～午後12時00分	3.8	41.0	
	※	搬出入車両走行音1-始点	73.4	*2	1台×2回	-	73.4	
	※	搬出入車両走行音2-終点	73.4	*2	1台×2回	-	73.4	
	※	搬出入車両走行音3-始点	73.4	*2	1台×1回	8.1	55.2	
	※	搬出入車両走行音4-始点	73.4	*2	1台×1回	11.8	52.0	

※夜間の搬出入車両は後進警報ブザー音を切るとともに、荷さばき作業音は軽量の荷物を手作業にて行うため、作業音（台車走行音、荷下ろし音等）は発生しない。

定常：定常騒音を示す。

*1 別添資料－3「騒音予測評価報告書（p.2）」より

*2 「ASJ RTN-Model 2013」より

*3 騒音発生源の位置は別添「資料－6 騒音発生源位置図」に示す。

*4 予測計算方法は別添資料3「騒音予測評価報告書」に示す。

■大規模小売店舗から近接した保全対象側

計画地の敷地境界上で基準値を上回る音源から最も近接した保全対象側（A～C地点）において再予測を行った結果、下表に示すとおり基準値を満足する。

搬入業者には徐行運転（10km/h以下）の厳守を指導・徹底するとともに、作業員には騒音防止の意識を徹底させる。

開店後、苦情等が発生した際には、発生源対策を含め誠意を持って対応いたします。

A地点における騒音レベル最大値の予測結果

騒音発生源				基準距離における騒音レベル(dB)	予測地点までの距離(m)	距離減衰量(dB)	回折減衰量(dB)	予測地点における騒音レベル(dB)	基準値
	番号	機器名称	高さ						
定	10	排気口	4.5	53.5	12.0	21.6	-	31.9	45
	※	搬出入車両走行音1-始点	-0.2	73.4	50.4	34.0	-	39.4	
	※	搬出入車両走行音2-終点	0.2	73.4	46.2	33.3	-	40.1	
	※	搬出入車両走行音3-始点	0.0	73.4	42.2	32.5	-	40.9	
	※	搬出入車両走行音4-始点	0.0	73.4	38.4	31.7	-	41.7	

定：定常騒音を示す。

B地点における騒音レベル最大値の予測結果

騒音発生源				基準距離 における 騒音レベル (dB)	予測地点 までの 距離(m)	距離減衰量 (dB)	回折減衰量 (dB)	予測地点 における 騒音レベル (dB)	基準値
	番号	機器名称	高さ						
	※	搬出入車両走行音1-始点	-0.2	73.4	93.5	39.4	-	34.0	45
	※	搬出入車両走行音2-終点	0.2	73.4	110.1	40.8	-	32.6	
	※	搬出入車両走行音3-始点	0.0	73.4	93.1	39.4	-	34.0	
	※	搬出入車両走行音4-始点	0.0	73.4	92.1	39.3	-	34.1	

C地点における騒音レベル最大値の予測結果

騒音発生源				基準距離 における 騒音レベル (dB)	予測地点 までの 距離(m)	距離減衰量 (dB)	回折減衰量 (dB)	予測地点 における 騒音レベル (dB)	基準値
	番号	機器名称	高さ						
	※	搬出入車両走行音1-始点	-0.2	73.4	99.2	39.9	-	33.5	45
	※	搬出入車両走行音2-終点	0.2	73.4	117.8	41.4	-	32.0	
	※	搬出入車両走行音3-始点	0.0	73.4	101.7	40.1	-	33.3	
	※	搬出入車両走行音4-始点	0.0	73.4	101.9	40.2	-	33.2	

(12) 必要な廃棄物等の保管施設の容量を算出するための廃棄物等の排出量等の予測の結果及びその算出根拠

廃棄物種類 原単位区分			紙製 廃棄物等①	金属製 廃棄物等②	ガラス製 廃棄物等③	小 計 ①+②+③
1 排日 出当 予た 測り 量 (t) A	面積6,000㎡ 以下の部分	排出量原単位 a	0.208	0.007	0.006	
		店舗面積 ※ ¹ b	1.123			
		小計(a×b=c)	0.233584	0.007861	0.006738	
	面積6,000㎡ 超の部分	排出量原単位 d				
		店舗面積 ※ ² e				
		小計(d×e=f)				
	計 (c + f)		0.233584	0.007861	0.006738	
廃棄物等の平均保管日数 (日) B			1	7	7	
廃棄物等の見かけ比重 (t/㎡ ³) C			0.10	0.10	0.10	
廃棄物等の必要保管容量 (㎡ ³) A×B÷C			2.34	0.55	0.47	

廃棄物種類 原単位区分			プラスチック 製廃棄物等④	生ごみ等⑤	その他の可燃 性廃棄物等⑥	小 計 ④+⑤+⑥
1 排日 出当 予た 測り 量 (t) A	面積6,000㎡ 以下の部分	排出量原単位 a	0.020	0.169	0.054	
		店舗面積 ※ ¹ b	1.123			
		小計(a×b=c)	0.02246	0.189787	0.060642	
	面積6,000㎡ 超の部分	排出量原単位 d				
		店舗面積 ※ ² e				
		小計(d×e=f)				
	計 (c + f)		0.02246	0.189787	0.060642	
廃棄物等の平均保管日数 (日) B			1	7	1	
廃棄物等の見かけ比重 (t／m ³) C			0.01	0.55	0.38	
廃棄物等の必要保管容量 (m ³) A×B÷C			2.25	2.42	0.16	

合 計 ①+②+③+④+⑤+⑥	8.19
-----------------	------

(注) 端数処理については、計算結果を四捨五入

指針に基づく配慮事項

駐車需要の充足等交通に係る事項について

○駐車場の位置及び構造等

No.	駐車場の構造	収容台数		面 積	駐車区画の大きさ	
		一般用	身障者用		一般用	身障者用
駐車場	建物外平面駐車場 (自走式)	49 台	1 台	635.25 m ²	5.0m×2.5m×46 台 5.0m×2.8m× 3 台	5.0m×3.65m

駐車料金の 徴収の有無	駐車場条例による届出 駐車場とする予定の有無	入口ゲートの 入庫処理時間	契約形態
無	無	無	敷地は賃借し、管理を自社で行う

○駐輪場の確保等

(1) 駐輪台数の算出根拠

ア 指針参考による駐輪台数の算出

店舗面積 (1,123m²) ÷ 35m² = (32台)

イ その他の方法による駐輪台数の算出

駐輪場付置 条例の有無	有 (条例名) ・ (無)																				
必要台数の予測 結果及び算出根拠	既存店舗〔ファッションセンターしまむら牛久店 (店舗面積: 898m²)〕における自転車利用者の来店状況調査結果より必要台数を決定した。 調査の結果、自転車利用者の最大滞留台数は休日14時台に11台が観測された。 今回、新設店舗の規模は既存店舗と比して店舗面積が1.12倍となるため、現状の最大滞留台数の1.12倍量に相当する12台が必要駐輪台数と予測される。 店舗面積比 = 計画店舗面積 / 既存店舗面積 = 1,123m² / 898m² = 1.25 必要駐輪台数 = 最大滞留台数 (11台) × 1.25 = 14台 令和8年5月17日 (日) 天気: 晴 <table border="1"> <thead> <tr> <th>時間帯</th><th>台数</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>10:00～11:00</td><td>2</td></tr> <tr><td>11:00～12:00</td><td>1</td></tr> <tr><td>12:00～13:00</td><td>2</td></tr> <tr><td>13:00～14:00</td><td>3</td></tr> <tr><td>14:00～15:00</td><td>11</td></tr> <tr><td>15:00～16:00</td><td>7</td></tr> <tr><td>16:00～17:00</td><td>1</td></tr> <tr><td>17:00～18:00</td><td>2</td></tr> <tr><td>18:00～19:00</td><td>2</td></tr> </tbody> </table>	時間帯	台数	10:00～11:00	2	11:00～12:00	1	12:00～13:00	2	13:00～14:00	3	14:00～15:00	11	15:00～16:00	7	16:00～17:00	1	17:00～18:00	2	18:00～19:00	2
時間帯	台数																				
10:00～11:00	2																				
11:00～12:00	1																				
12:00～13:00	2																				
13:00～14:00	3																				
14:00～15:00	11																				
15:00～16:00	7																				
16:00～17:00	1																				
17:00～18:00	2																				
18:00～19:00	2																				
必要台数	14台																				

(2) 駐輪場の構造、収容台数及び面積

駐輪場No.	駐輪場構造	収容台数	面 積	駐輪区画の大きさ	
				一般用	二輪車・バイク用
駐輪場	平面式	14台	14.0㎡	0.5m×2.0m	0.5m×2.0m

(3) 駐輪場の管理体制

項 目	内 容
整理員等の配置	・店舗従業員の適宜見回りにて対応する。
営業時間外の管理等	・閉店後には、駐車場出入口をチェーンにて閉鎖することで、駐輪場を使用できなくする。

(4) 駐輪場案内の表示方法

特になし

○自動二輪車の駐車場の確保

(1) 自動二輪車駐車場台数の算出根拠

駐車場附置 条例の有無	有（条例名） ・ （無）																				
必要台数の予測 結果及び算出根拠	既存店舗「ファッションセンターしまむら牛久店（店舗面積：898㎡）」における自動二輪車の来店状況調査結果より必要台数を決定した。 調査の結果、自動二輪車の来店は観測されなかったため、1台分の来客用駐車場を共用することとした。 店舗面積比＝計画店舗面積/既存店舗面積＝1,123㎡/898㎡＝1.25 令和8年5月17日（日） 天気：晴 <table border="1"> <thead> <tr> <th>時間帯</th><th>台数</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>10:00～11:00</td><td>0</td></tr> <tr><td>11:00～12:00</td><td>0</td></tr> <tr><td>12:00～13:00</td><td>0</td></tr> <tr><td>13:00～14:00</td><td>0</td></tr> <tr><td>14:00～15:00</td><td>0</td></tr> <tr><td>15:00～16:00</td><td>0</td></tr> <tr><td>16:00～17:00</td><td>0</td></tr> <tr><td>17:00～18:00</td><td>0</td></tr> <tr><td>18:00～19:00</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>	時間帯	台数	10:00～11:00	0	11:00～12:00	0	12:00～13:00	0	13:00～14:00	0	14:00～15:00	0	15:00～16:00	0	16:00～17:00	0	17:00～18:00	0	18:00～19:00	0
時間帯	台数																				
10:00～11:00	0																				
11:00～12:00	0																				
12:00～13:00	0																				
13:00～14:00	0																				
14:00～15:00	0																				
15:00～16:00	0																				
16:00～17:00	0																				
17:00～18:00	0																				
18:00～19:00	0																				
必要台数	1台																				

(2) 自動二輪車駐車場の構造、収容台数及び面積

来客用駐車場の内数とする。

(3) 自動二輪車駐車場の管理体制

来客用駐車場と共用とするため、特になし。

(4) 自動二輪車駐車場案内の表示方法

来客用駐車場と共用とするため、表示なし。

○荷さばき施設の整備等

(1) 荷さばき施設の概要

荷さばき施設No.	同時作業の可能な台数		待機スペースの有無・広さ
	想定する車両の大きさ	台数	
荷さばき施設	4 t 車 (9.0m×2.4m)	1台	○無 ・ 有

(2) 搬出入車両の出入口の数

専用出入口の有無	搬出入車両の出入口の数	対 応 等
無	1 箇所 (出入口No.1 を共用)	・搬出入業者には、来店者と出入口が共用である旨を周知し、入出庫時の安全運転を徹底させる。 ・搬出入車両を入庫させる際には、歩行者及び来店車両との場内交錯を避けるべく、必要な場合は従業員が安全に誘導を行い、事故の発生防止に努める。

○経路の設定等

(来客自動車の経路設定)

ア) 経路の設定にあたり考慮した点

- ・来退店経路は2車線以上、車線幅員6m以上、両側または片側に歩道が整備されている県道牛久停車場線を主経路とする。(別添「資料-4 案内経路図」のとおり)

イ) 設置者が行う交通対策等の予定

- ・オープンセール期間は、出入口付近に交通整理員を適宜配置して周辺地域に混雑が生じないように誘導を行う。
- ・駐車場出入口には、停止線の路面表示を行うことで、帰宅車両の一旦停止を促し、横断歩行者の安全を確保する。
- ・出入口No.1は左折入出庫となるよう右折入庫・右折出庫禁止の誘導サインを設置する。

(搬出入車両の経路設定)

ア) 搬出入事業者への混雑が少なくなるような経路選択の働きかけ

- ・商品等の搬出入計画は、朝・夕の交通量の多い時間帯や、来店車両の多い時間帯を極力避け、待機車両が発生しないよう配慮する。

イ) 搬出入の経路上に学校等が位置する場合の運行時間帯、交通整理員の配置等の配慮

- ・通学時間帯を極力避けた運行計画を立てる。
- ・学校等からの要望事項等があれば、可能な限り対応していく。

(その他)

- ・バス停移設について、牛久市政策企画課と協議中

歩行者の通行の利便の確保等について

①歩行者の通行の利便の確保等のための計画

	具体的内容等
歩行者通路確保のための対策	・主経路となる県道牛久停車場線には歩道が整備されているため、特になし。 ・オープンセール期間中は、出入口付近に交通整理員を適宜配置して周辺地域に混雑が生じないよう誘導を行う。 ・駐車場出入口には、停止線の路面表示を行うことで、帰宅車両の一旦停止を促し、横断歩行者の安全を確保する。
夜間照明灯の設置の有無	有：適切に照明設備を配置することで、夜間、歩行者の通行の安全を確保する。 設置場所：別添「資料－５ 動線計画図」のとおり

廃棄物減量化及びリサイクルについて

廃棄物減量化及びリサイクル計画の予定及び概要	・分別の徹底によるごみの減量化に努め、廃棄物発生抑制対策を実施します。 ・再資源化可能な廃棄物のリサイクルと適正処理に努めます。
近隣住民等への周知方法	・住民説明会で周知を図る。

防災・防犯対策への協力について

○防災対策

防災協定等		締結協定の内容
締結依頼	⊖・有	・消防訓練を定期的に実施し、来店者及び従業員が災害に巻き込まれないための対策を行います。 ・災害時においてはできるだけ早く店舗を復旧し、主に防災用具等を迅速に供給できるよう努めます。
締結済	⊖・有	

○防犯対策

- ・駐車場内には、適切に照明設備を配置することで死角を排除し、青少年のたまり場とならないよう配慮する。
- ・従業員による定期的な店内巡回や声かけを行うことで、防犯に努める。
- ・営業終了後には、店舗周辺部や駐車場への蟻集を防止するため、駐車場出入口をチェーンで閉鎖する。
- ・警察署との連携が図れるよう緊急時の防犯体制を整備する。

○青少年の非行防止対策

- ・従業員による店内及び駐車場内の巡回や声かけ等により、事前に犯罪を抑制するとともに、少年非行防止の観点から見通しを確保した商品陳列、防犯カメラの設置など万引き防止等の防犯対策を講じる。

騒音の発生に係る事項について

○荷さばき作業における騒音対策

項 目	具体的な騒音対策の内容
荷さばき施設の騒音対策	・荷さばき施設は、住居等が面していない場所に配置するとともに、十分な作業スペースを確保し、計画的な搬出入を行うことで、作業時間の短縮に努める。
荷さばき作業の騒音対策	・荷さばき車両のアイドリング禁止や場内の徐行走行（10km/h 以下）の厳守など業者に指導・徹底する。 ・道路運送車両の保安基準を遵守しながら、夜間の後進警報ブザー音を停止するなど、委託業者、作業員に対して騒音防止の意識を徹底する。 ・荷さばき作業は手作業にて行う。

○附帯設備における騒音対策

No.	項 目		設置の有 無	規模・能力	騒音レベル (dB)	騒音対策等
	種 類	形 式				
1	室外機 1	ROA-RP1403HS	有	圧縮機出力 3.21kW	58.0	・低騒音化型の機器を導入する。 ・定期的に保守点検を実施し、故障等による異音の発生を防止する。
2	室外機 2	ROA-RP1403HS	有	圧縮機出力 3.21kW	58.0	
3	室外機 3	ROA-RP1403HS	有	圧縮機出力 3.21kW	58.0	
4	室外機 4	ROA-RP1403HS	有	圧縮機出力 3.21kW	58.0	
5	室外機 5	ROA-RP1403HS	有	圧縮機出力 3.21kW	58.0	
6	室外機 6	ROA-RP1403HS	有	圧縮機出力 3.21kW	58.0	
7	室外機 7	ROA-RP1403HS	有	圧縮機出力 3.21kW	58.0	
8	室外機 8	ROA-RP503HS	有	圧縮機出力 0.92kW	47.0	
9	室外機 9	RAS-2211AT	有	圧縮機出力 0.75kW	46.0	
10	排気口	EFG-40SB	有	出力 0.15kW	53.5	・大きな騒音がでない形状を選択する。
11	キュービクル	キュービクル a	有	—	52.6	無

○駐車場における騒音対策

駐車場No.	施設面の騒音対策	運用面の騒音対策
駐車場	・特になし	・オープンセール期間は、出入口付近に交通整理員を適宜配置して場内走行の円滑化を図り、渋滞による騒音の発生を抑制する。 ・利用時間外には駐車場出入口をチェーンで閉鎖し、外部からの侵入者が騒音を発生することがないように配慮する。

○その他の騒音対策

廃棄物収集場所の構造	回収時間帯	施設面の騒音対策	運用面の騒音対策
廃棄物等保管施設 (建物内)	6:00～21:00	・廃棄物等の回収場所、住居等が面していない場所に配置する。	・早朝、夜間には回収を行わない。 ・ゴミの排出量を減らし、収集時間を短縮できるよう努める。 ・業者には騒音抑制の意識を徹底させるとともに、エンジンの空ぶかしは行わないよう協力を要請する。

廃棄物に係る事項について

○廃棄物等の保管方法

ア) 廃棄物保管施設

容 量	排出方法	洗浄設備	冷蔵設備等の有無	附属設備の概要
2.89m ³	ポリ袋・ペール	無	有・ (無)	無

イ) 資源物保管施設

容 量	廃棄物との区分方法	防水対策	附属設備
6.15m ³	・別途保管庫内に設置	建物内に保管	特になし

○調理臭等の発散防止

該当なし

街並みづくり等について

- ・屋外広告物や外壁等について周辺環境と協調させるなど、大規模建築物等の景観形成基準に適合するよう努める。
(別添「資料－8 立面図」のとおり)

光害の防止について

- ・周辺近隣に対して光害を発生させないように照明の配置、方向、光源の種類には十分に配慮する。

地域貢献活動の取り組み

(1) まちづくりや防災・防犯、環境保全等に係る連携・協力

- ①従業員による店内巡回や声かけ等を実施するとともに、駐車場内には適切に照明設備を配置することで、駐車場内の死角を排除し、青少年の蟻集等の防犯対策に努める。
- ②店舗内における犯罪や少年非行防止の観点から、見通しを確保した商品陳列、防犯カメラの設置など、万引き防止等の防犯対策を講じる。
- ③バリアフリー法や茨城県ひとにやさしいまちづくり条例に適合した店舗づくりをめざし、多目的トイレの設置を行う。

(2) 地域商業活性化に係る連携・協力

- ①地域からの優先的な雇用を促進する。

(3) 地域の祭りや行事等への参加・協力

- ①地域の祭りや各種行事について申し出があった場合には協力を検討する。

(4) その他、事業活動を通じた社会貢献など

- ①従業員の採用にあたっては、地元から優先的に雇用する。